

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年2月12日

【四半期会計期間】 第65期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社ファインシンター

【英訳名】 FINE SINTER CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 井上 洋一

【本店の所在の場所】 愛知県春日井市明知町西之洞1189番地11

【電話番号】 0568 - 88 - 4355 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 鈴木 哲彦

【最寄りの連絡場所】 愛知県春日井市明知町西之洞1189番地11

【電話番号】 0568 - 88 - 4355 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 鈴木 哲彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第3四半期 連結累計期間	第65期 第3四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	26,418,999	27,250,734	34,591,985
経常利益 (千円)	1,132,796	814,655	1,374,146
四半期(当期)純利益 (千円)	763,901	522,177	1,218,205
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	879,167	1,353,114	2,099,276
純資産額 (千円)	13,336,176	15,604,662	14,516,167
総資産額 (千円)	32,830,255	37,766,861	33,435,627
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	34.68	23.71	55.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	37.2	37.6	39.7

回次	第64期 第3四半期 連結会計期間	第65期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.53	7.14

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復基調が持続しており堅調に推移しています。一方、タイ国においては政情不安により年度後半に向け経済活動への大きな影響が懸念される状況にあり、その他アジア新興国においても弱含みで推移するなど、今後については予断を許さない状況が続いています。国内経済は、新政権の経済政策および金融緩和策などにより景気は緩やかに回復しており輸出関連企業を中心として幅広い業種に好転が見られる状況となりました。

このような中、当社製品の主要需要先である自動車産業におきましては、円高の是正が進み、輸出による収益の回復、国内市場においてもハイブリットカーをはじめとするエコカーおよび軽自動車販売が好調に推移しました。その一方で、自動車メーカーの海外での部品調達は依然として加速しております。当社グループにおきましては、インドネシア子会社の生産開始、および中国・タイ子会社等での増産対応を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,250百万円と前年同四半期と比べ831百万円(3.1%)の増収となり、営業利益は749百万円と前年同四半期と比べ343百万円(31.5%)の減益、経常利益は814百万円と前年同四半期と比べ318百万円(28.1%)の減益、四半期純利益は522百万円と前年同四半期と比べ241百万円(31.6%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

粉末冶金製品事業

粉末冶金製品事業については、主な需要先である自動車業界における自動車生産台数の増加により、売上高全体としては前期を上回りました。一方で、自動車メーカーの海外現地生産拡大にあわせ、当社グループにおいては、インドネシア子会社の生産開始、および中国、タイ子会社等での増産に向けた取り組みを進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は25,792百万円と前年同四半期と比べ876百万円(3.5%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)につきましては、1,417百万円と前年同四半期と比べ472百万円(25.0%)の減益となりました。

油圧機器製品事業

油圧機器製品事業につきましては、受注は前期をやや下回る水準となりましたが、社内における原価改善に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,452百万円と前年同四半期と比べ49百万円(3.3%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)につきましては、435百万円と前年同四半期と比べ2百万円(0.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末比503百万円増)等により、15,855百万円(前連結会計年度末比850百万円増)となりました。固定資産につきましては、設備増強等による有形固定資産の増加(前連結会計年度末比3,179百万円増)、株価の上昇による投資有価証券の評価額の増加(前連結会計年度末比428百万円増)等により、21,911百万円(前連結会計年度末比3,480百万円増)となりました。

以上により、資産合計は37,766百万円(前連結会計年度末比4,331百万円増)となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加(前連結会計年度末比1,341百万円増)及び設備関係支払手形の増加(前連結会計年度末比648百万円増)等により、15,994百万円(前連結会計年度末比2,529百万円増)となりました。固定負債につきましては長期借入金の増加(前連結会計年度末比612百万円増)等により、6,167百万円(前連結会計年度末比713百万円増)となりました。

この結果、負債合計は22,162百万円(前連結会計年度末比3,242百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が279百万円増加、その他の包括利益累計額が616百万円増加したことにより、少数株主持分を除くと14,183百万円(自己資本比率37.6%)となりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は147,921千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	22,100,000	22,100,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であります。
計	22,100,000	22,100,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月31日		22,100,000		2,203,000		1,722,945

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 79,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,916,000	21,916	
単元未満株式	普通株式 105,000		
発行済株式総数	22,100,000		
総株主の議決権			

- (注) 1 単元未満株式には当社所有の自己株式 767株が含まれております。
2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ファインシンター	愛知県春日井市明知町 西之洞1189番地11	80,000		80,000	0.36
計		80,000		80,000	0.36

- (注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が 1,000株(議決権1個)あります。なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,058,738	4,028,209
受取手形及び売掛金	¹ 7,446,944	¹ 7,950,422
電子記録債権	371,100	469,257
商品及び製品	408,213	538,549
仕掛品	1,168,514	1,172,520
原材料及び貯蔵品	940,922	955,104
繰延税金資産	454,950	421,730
その他	155,650	319,797
流動資産合計	15,005,034	15,855,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,646,955	11,294,270
減価償却累計額	5,941,861	6,257,792
建物及び構築物(純額)	4,705,094	5,036,478
機械装置及び運搬具	31,323,754	33,007,513
減価償却累計額	26,645,244	27,885,497
機械装置及び運搬具(純額)	4,678,509	5,122,016
工具、器具及び備品	6,935,403	7,716,643
減価償却累計額	6,173,118	6,696,964
工具、器具及び備品(純額)	762,284	1,019,678
土地	3,176,935	3,524,294
リース資産	945,840	1,085,855
減価償却累計額	343,744	438,342
リース資産(純額)	602,096	647,513
建設仮勘定	1,282,034	3,036,047
有形固定資産合計	15,206,955	18,386,028
無形固定資産		
のれん	220	55
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	124,151	116,907
その他	121,547	128,056
無形固定資産合計	257,326	256,427
投資その他の資産		
投資有価証券	1,824,485	2,253,394
長期貸付金	78,739	47,835
繰延税金資産	963,798	858,455
その他	109,576	119,392
貸倒引当金	10,287	10,265
投資その他の資産合計	2,966,311	3,268,812
固定資産合計	18,430,593	21,911,268
資産合計	33,435,627	37,766,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	¹ 5,551,552	¹ 6,133,630
短期借入金	3,816,870	5,158,317
1年内返済予定の長期借入金	1,107,640	1,002,508
リース債務	142,812	155,831
未払法人税等	202,681	108,800
未払消費税等	31,301	49,329
未払費用	475,281	505,932
賞与引当金	818,199	486,489
役員賞与引当金	30,934	24,381
設備関係支払手形	¹ 514,228	¹ 1,163,116
その他	774,122	1,206,658
流動負債合計	13,465,625	15,994,996
固定負債		
長期借入金	1,254,468	1,867,252
リース債務	699,640	733,422
退職給付引当金	2,954,774	3,037,770
役員退職慰労引当金	107,676	88,128
資産除去債務	292,907	296,603
その他	144,367	144,026
固定負債合計	5,453,834	6,167,202
負債合計	18,919,459	22,162,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,722,945
利益剰余金	9,033,770	9,313,661
自己株式	23,183	25,348
株主資本合計	12,936,532	13,214,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	699,798	965,698
為替換算調整勘定	347,137	3,326
その他の包括利益累計額合計	352,661	969,025
少数株主持分	1,226,973	1,421,378
純資産合計	14,516,167	15,604,662
負債純資産合計	33,435,627	37,766,861

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	26,418,999	27,250,734
売上原価	22,846,110	23,762,954
売上総利益	3,572,889	3,487,780
販売費及び一般管理費	2,479,985	2,738,642
営業利益	1,092,904	749,137
営業外収益		
受取利息	21,100	13,940
受取配当金	32,654	40,223
為替差益	3,496	68,424
作業くず売却収入	29,254	36,679
雑収入	114,106	86,446
営業外収益合計	200,611	245,714
営業外費用		
支払利息	99,477	97,518
固定資産除却損	31,668	48,082
雑支出	29,573	34,594
営業外費用合計	160,719	180,195
経常利益	1,132,796	814,655
特別損失		
環境対策費	40,304	-
特別損失合計	40,304	-
税金等調整前四半期純利益	1,092,492	814,655
法人税等	238,737	259,379
少数株主損益調整前四半期純利益	853,755	555,276
少数株主利益	89,853	33,098
四半期純利益	763,901	522,177

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	853,755	555,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,766	265,899
為替換算調整勘定	70,179	531,938
その他の包括利益合計	25,412	797,838
四半期包括利益	879,167	1,353,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	774,523	1,138,541
少数株主に係る四半期包括利益	104,644	214,572

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、以下の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	52,831千円	46,162千円
支払手形	189,560千円	211,926千円
設備関係支払手形	130,491千円	542,245千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	1,755,076千円	1,728,369千円
のれんの償却額	16,649千円	3,093千円
負ののれんの償却額	2,505千円	

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	198,280	9.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	242,286	11.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,916,306	1,502,693	26,418,999		26,418,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	24,916,306	1,502,693	26,418,999		26,418,999
セグメント利益	1,889,271	432,446	2,321,717	1,228,813	1,092,904

(注) 1 セグメント利益の調整額 1,228,813千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,792,690	1,452,967	27,245,657	5,077	27,250,734		27,250,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	25,792,690	1,452,967	27,245,657	5,077	27,250,734		27,250,734
セグメント利益	1,417,198	435,440	1,852,639	805	1,851,834	1,102,696	749,137

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額 1,102,696千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	34.68円	23.71円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	763,901	522,177
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	763,901	522,177
普通株式の期中平均株式数(株)	22,029,067	22,021,997

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

株式会社 ファインシンター
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 西 川 浩 司 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 手 塚 謙 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ファインシンターの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ファインシンター及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。